南相馬市立鹿島中学校スローガン　「創造」「秀・和」「不屈」　～挨拶は　心の絆　挨拶で　心を磨く～

校庭には
夏の終わりを告げる
赤とんぼが飛んでいます

# 車輪梅

＜鹿島中学校　学校だより＞

【令和4年8月号】

《令和４年度重点目標》『互いに認め高め合い　夢に向かって挑戦し続ける　品格のある鹿島中生』

## ２学期スタート！「成長できる学期」にするために

急激な新型コロナウイルス感染拡大の中での２学期のスタートとなりましたが、感染対策や体調管理を徹底し、万全な状態で教育活動を進め、子ども達の抱負や目標が叶う「成長できる学期」にしていきたいと思います。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

＜第２学期始業式式辞より　抜粋＞

さて、一年の中でも最も期間の長い２学期、みなさんには、授業で、クラスで、部活動で、行事で、委員会や係活動で、主役として活躍したり、自分の力を試したり、自分を磨いたりすることのできるチャンスがたくさんあります。また、地域の方々など、学校外の人との多くの出会いもあります。それらを通して「どうしたら自分が成長できるか、どうしたら自分が関わる集団がより良く成長していけるのか」、そのために「今自分ができること・すべきことは何なのか」をしっかり考えながら学校生活を送ってほしいと思います。

この２学期を、「成長できる学期」にするために、

1.意識して「プラス言葉」を使って、自分自身だけでなくクラスやチームを「プラス思考」の「心地よい環境」にしていく
2.「抱負や目標」を言葉にして「見える化」し、見えやすく・分かりやすくしていく

というこの２つを心にとめて、２学期の活動に取り組んでください。

プラス言葉の反対にマイナス言葉というものがあります。このマイナス言葉が口癖になると、マイナス思考になり、自分で自分の評価をどんどん下げていってしまいます。

言葉は自分にだけでなくクラスやチームの人の心にも影響する大きな力を持っています。プラスの言葉が溢れているクラスやチームの空気は、「チャンスをとらえてチャレンジしてみよう！」という前向きなものになっていきます。

プラス言葉が溢れるクラスやチームで、頑張りたいことを言語化して目的意識をしっかり持っていけば、「今、自分は何をすべきなのか」がはっきりします。そうすると、おのずと自分がすべき努力の先に「成長」がしっかりと見えてきます。

「言葉は人を育てる」とも言われます。「言葉」を大事にしながら成長に向かっていってほしいと思います。

新型コロナウィルス感染症については、今後も予断を許さない状況が続くと思います。一人一人が学校や家庭での感染防止対策を徹底して、コロナ禍にあっても、決して学びを止めることなく、夢や希望の実現に向けて前進できる２学期にしていきましょう。

## 英語弁論大会（8/25・相馬市民会館）・駅伝大会（9/7・楢葉町総合グラウンド）にむけて

２名の英語弁論大会出場者は、英語の発音だけでなく、物語の感動を届けるために、表情や身振り手振りなどについても研究を重ね、表現力を磨いてきました。また、特設駅伝部では、ロードワークや桜平山での練習で、励まし合い競い合うことを通して、持久力やスプリント力、さらに、チームワークを身につけてきました。大会本番では、これまでの練習の成果を存分に発揮してきてほしいと思います。

### 夏休み中の一コマ

２年生の環境委員が毎日欠かさず、緑化活動で植えたベゴニアとマリーゴールドの水やりをしてくれました。緑化活動から２ヶ月経った今でも、猛暑の中、元気に美しく咲き誇っています。

※カラー版を本校ホームページ上でご覧いただけます。